

ATS通信

刊行 ATS通信編集部
2024年2月10日 72号

キレイな車に事故は無し！第一回洗車大賞発表



皆様、日々の業務お疲れさまです。昨年よりお伝えしていましたが2024年中に洗車を頑張った方に、第一回洗車大賞を贈ります！2024年洗車王は・・・川崎敬三さんです！川崎さんは、業務の合間合間、給油の際などにいつもトラックを綺麗に保とうとされているうえ、帰社後のトラックチェックも欠かさず行っています。そして、年間無事故。素晴らしいと思います。今回の選出基準はカウンターに置かれている洗車チェック表によるものです。中にはトラックを綺麗にしているし洗車しているけど、チェック表に記入されていない方もいらっしゃると思います。良い事なので記入してください。第二回の洗車王は、あなたかもしれません。キレイな車に事故は無し。皆さん、今後もトラックを大切にしていきましょう。

新人さん、いっしょいっしょ！

昨年12月18日から営業サポートとして^{よあやみ きょうか}米山 恭佳さんが入社されました！！12月23日生まれ。血液型はO型で、2人のお子さんがいます。前職は給食の調理師として10年勤められていました。広い給食センターを走って移動しながら仕事をしていたので、今でも移動する時はつい走ってしまうそうです。求職活動をしている時、赤田運輸のHPの写真を見て「アットホームで仲が良さそう！私も一緒に働きたい！」思ったそうです。入社前、トラックドライバーさんは怖いかなとドキドキしていたそうですが、皆さん優しく声をかけて下さるので嬉しいです♪と笑顔で話してくれました。

〈皆さんへのメッセージ〉

「入社して1ヶ月経ち、少しずつ自分がする仕事に分かってきました。これから新しい仕事もどんどん覚えていきますのでよろしくお願い致します。」

仕事に対してとてもひたむきに取り組まれているのが印象的な米山さん。赤田運輸にどんな風を吹かせてくれるのか楽しみです。



裏面もあります。

From Today Onward..「今日」から「明日」へ

新しい年が始まって、あっという間に1ヶ月経ちました。

今年になり何か新しいことを始めようかな、どうしようかな、と迷っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は「木村セツ」さんをご紹介します。

御年96歳を迎えられる、ちぎり絵作家さんです。

セツさんがちぎり絵を始めたのはなんと90歳の時。

旦那さんが亡くなり落ち込むセツさんに、娘さんがちぎり絵を勧めたそうです。最初は絵が苦手なので躊躇していたのですが、亡くなる少し前に旦那さんが「いくつになっても勉強せなあかん」と言っていたのを思い出し、ちぎり絵を始めてみることにしました。

すると、あっという間に才能を開花させ本を出版するまでに。

まさに「物事を始めるのに年齢は関係ない」を体現された方だと思います。

セツさんのちぎり絵は折り紙ではなく新聞紙で作られているところもとても興味深いです。

そして、選んでいる題材や題材を切り取る視点もユーモラスでセツさんの人間性がにじみ出ています。

現在、瀬戸内市立美術館で原画展を開催していますので足を運んでみるのはいかがでしょうか。

何か人生のヒントが見つかるかもしれません！

新聞ちぎり絵原画展

90歳から始まった
創作活動は、



93歳セツの



編集後記

フキ情報スペース 掲示板

・3月お誕生日の方々

3月2日 小寺 亜紀さん

3月5日 田邊 貴基さん

3月11日 山川 弘徳さん

おめでとうございます！！

・1月20日に倉庫スタッフ、谷田 隆さんが入社されました。

2月1日からドライバーとして2名入社。
清水浩二さんと山縣 徹さん。皆様のご紹介は、また紙面にて。

・前回のATS通信で72号とクレジットしていましたが、正しくは今回が72号です。誠に申し訳ございませんでした。

今年のお正月。帰省した弟との会話の中で、「趣味を仕事にする事。」と「仕事が趣味。」の違いについて、色々考える機会があった。

かつて「趣味は仕事です。」と公言していた私。面倒くさがりで、他に没頭する事が無かったのでそう答えていただけなのだが、それは違うな、と今更ながら思う。職業として成立している事柄を「楽しむ事」は良い事だが、「趣味に興じる事」であってはいけない。「趣味は手術です。」と答えるお医者さんがいたらその病院には足を運びたくないと私なら思う。若造の頃、それがカッコいいと思って周りに吹聴していたと思うと、恥ずかしくて頭を抱えてしまう。興味があっても熱中できる事柄を仕事にする事はよくある。しかし食い扶持を稼ぐための手段を趣味と言い切るのは、日本ならではの考え方なのだろうなあ。

では皆さん、また来月。